

# 景 気 動 向 調 査

( 第 162 回 )

2011 年 7 月 ~ 9 月期実績

2011 年 10 月 ~ 12 月期予測

株式会社 北日本銀行

経 営 企 画 部

## 目 次

調査要領	.....	1
概 況	.....	2
1．県内景況感について	.....	4
2．業況について		
(1) 売上高または出荷高	.....	5
(2) 生産高または仕入高	.....	6
(3) 在 庫	.....	7
(4) 収 益	.....	8
(5) 販売価格・仕入価格	.....	9
3．設備投資の動向について		
(1) 設備投資の実施状況	.....	10
(2) 設備投資の目的	.....	11
4．資金繰り状況について		
(1) 資金繰り状況	.....	12
(2) 現金・預金	.....	13
(3) 金融機関借入	.....	13
(4) 販売代金回収期間	.....	14
(5) 仕入代金決済期間	.....	14
5．経営上の問題点について	.....	15

## 調 査 要 領

この報告は、岩手県内企業各社のご協力のもとに、下記の要領により景気動向の調査を行ったものです。尚、東日本大震災の影響により、2011年1月～3月期実績及び4月～6月期予測の調査については実施しておりません。

### 記

1. 実施時期            2011年9月下旬～2011年10月上旬
2. 調査対象期間      2011年7月～9月期実績  
                         2011年10月～12月期予測
3. 調査の方法        郵送による無記名のアンケート方式（年間4回）
4. 対象先            岩手県内企業 400社
5. 回答数            169通（回答率 42.25 %）  
                         <内訳> 製造業 55社 建設業 37社 卸・小売業 77社
6. 調査の主要項目    (1) 業況について  
                         (2) 設備投資の動向について  
                         (3) 資金繰りの状況について  
                         (4) 当面する経営上の問題点について

以 上

#### 【本文用語説明】

「増加」～グラフ上の「増加」および「やや増加」

「減少」～グラフ上の「減少」および「やや減少」

DI（ディフュージョン・インデックス）～

「景気動向指数」のことで、各項目について「増加」（増加およびやや増加）と回答した企業の比率から「減少」（減少およびやや減少）と回答した企業の比率を減じた数値である。この値が「0」の場合は、「増加」と「減少」が等しいことを示し、プラスとなるほど「増加」が多く、マイナスになるほど「減少」が多いことを意味する。

(注) 「上昇・低下」「楽になった・苦しくなった」「長くなった・短くなった」の回答についても同様に読み替える。

ただし、「販売代金回収期間」については、「短くなった」-「長くなった」で算出している。

## 概 況

2011年7～9月期の岩手県内企業の景況感D Iは、全体で 43.2 と前期（4～6月期） 73.2 より 30 ポイント上昇している。10～12月期の見通しは、景況感上昇の見通しが示されているが、その他指数には低下を見通すものも有り、一進一退の状況が続いている。

D I（景気動向指数）推移

全業種ベース	7～9月期実績	10～12月期見通し
景況感	43.2	39.8
売上高・出荷高	22.6	4.2
収益	14.9	9.6
販売価格	6.6	9.0
仕入価格	23.1	23.9
資金繰り	10.0	8.5

国内経済をみると、持ち直しの動きが続いている。

生産や輸出は、震災による落込みからの回復過程に比べてペースは緩やかになっているものの、増加を続けている。設備投資は被災した設備の修復もあって緩やかに増加している。個人消費も一部に弱さが残っているものの、全体として持ち直している。また住宅投資は持ち直しが明確となっており、公共投資も下げ止まりつつある。先行きの国内経済は緩やかに回復経路に復してゆくと考えられる。

岩手県内経済は、最終需要の動向をみると個人消費や公共投資は復興関連需要に支えられ伸びが続いている。特に非製造業の建設業、卸・小売行等は改善がみられる。一方、生産も確実に持ち直してきており、沿岸被災地以外の地域では震災前とほぼ同水準の生産を行う能力を回復したと見られる。

< 参考 >

岩手県内企業「景況感D I」ワーストランキング

	調査回次	対象期間	景況感D I
1	第 153 回	09年1～3月	92.7
2	第 152 回	08年10～12月	91.3
3	第 124 回	01年10～12月	91.2
4	第 109 回	98年1～3月	90.6
5	第 111 回	98年7～9月	90.0

(1971(昭和46)年以降)

## 1. 県内景況感について

全体のDIは、43.2となっている。

各業種別のDIをみると、製造業が56.4、建設業が18.9、卸・小売業が45.5である。10~12月期見通しでは、卸・小売業が1.3ポイント低下しているが、建設業が10.6ポイント、製造業が5.5ポイントそれぞれ上昇し、建設業と製造業は上向き見通しとなっている。

## 2. 業況について

### (1) 売上高または出荷高

DIは、全体では22.6となっている。業種別では、建設業が41.6、卸・小売業が24.7、製造業が7.2である。

### (2) 生産高または仕入高

製造業の生産高は10.8、卸・小売業の仕入高は13.2となっている。

### (3) 在庫

製造業の製品在庫は11.0、卸・小売業の商品在庫は21.1となっている。

### (4) 収益

DIは、全体では14.9となっている。業種別では、製造業が1.8、建設業が24.3、卸・小売業が22.1である。

### (5) 販売価格・仕入価格

販売価格は6.6、仕入価格は23.1となっている。

## 3. 設備投資の動向について

全体で見ると、設備投資を「実施した」企業は23.8%となっている。

業種別では、製造業が26.0%、卸・小売業が28.0%、建設業が11.4%である。

また、設備投資の目的をみると、「生産・販売能力の維持更新」がトップとなり、「生産・販売能力の増加」が2位、「省力化・合理化」が3位となっている。

## 4. 資金繰り状況について

DIは、全体では10.0となっている。業種別では、建設業が8.1、卸・小売業が27.3、製造業が12.7である。

## 5. 経営上の問題点について

各業種とも「売上・受注不振」、「過当競争」、「過当競争」が上位を占めている。

# 1. 県内景況感について

## ～ 各業種の景況実績上向く ～

[7～9月期の実績] 県内の景況感（前年同期比）をみると、全業種では「良い」と答えた企業が17.2%（前期6.7%）、「悪い」が60.4%（同66.2%）で、DIは 43.2（同 59.5）と、16.3ポイント上向いている。

業種別の景況感（DI）をみると、製造業が 56.4（同 53.6）、建設業が 18.9（同 61.1）、卸・小売業が 45.5（同 62.9）となっている。各業種で上向いており、建設業は42.2ポイント上向いている。

[10～12月期の見通し] 10～12月期見通し（前年同期比）をみると、全業種では「良くなる」とみる企業が17.9%、「悪くなる」が57.7%であることから、DIは 39.8となり、7～9月期実績と比較すると上向く見通しとなっている。

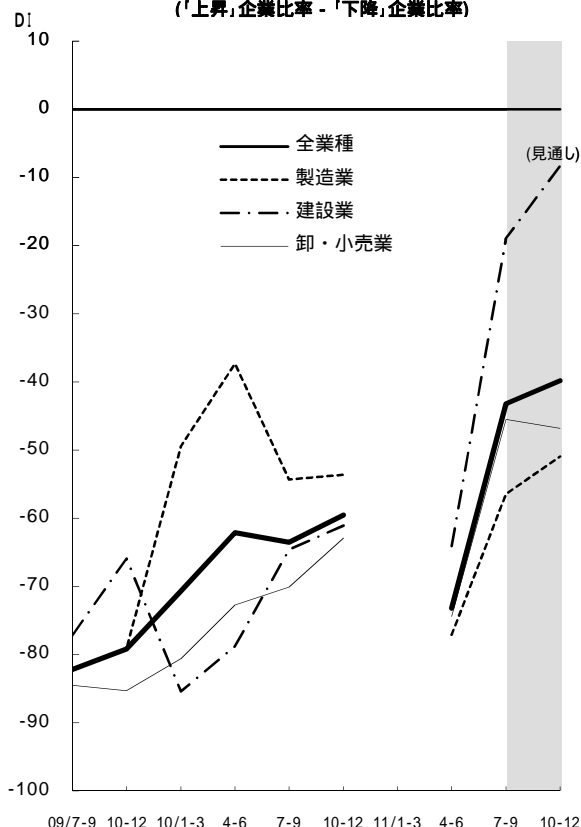
業種別にみると、製造業が 50.9、建設業が 8.3、卸・小売業が 46.8となっており、製造業と建設業は上向く見通しとなっている。

県内景況感(前年同期比)

		(%)					DI
	期	良い	やや良	不変	やや悪	悪い	
全業種	7～9月 (実績)	1.8	15.4	22.4	42.6	17.8	-43.2
	10～12月 (見通し)	0.6	17.3	24.4	44.0	13.7	-39.8
(製造業)	7～9月 (実績)	1.8	10.9	18.2	49.1	20.0	-56.4
	10～12月 (見通し)	1.8	12.7	20.1	50.9	14.5	-50.9
(建設業)	7～9月 (実績)	2.7	27.0	21.7	27.0	21.6	-18.9
	10～12月 (見通し)	0.0	30.6	30.5	27.8	11.1	-8.3
(卸・小売業)	7～9月 (実績)	1.3	13.0	25.9	45.5	14.3	-45.5
	10～12月 (見通し)	0.0	14.3	24.6	46.8	14.3	-46.8

県内景況感(前年同期比)

(「上昇」企業比率 - 「下降」企業比率)



## 2. 業況について

### (1) 売上高または出荷高

～ 全体としては上向きを継続 ～

[7～9月期の実績] 売上・出荷実績(前年同期比)をみると、全業種では「増加」と答えた企業が53.5%(前期37.7%)、「減少」が30.9%(同42.6%)となり、D Iは22.6(同 4.9)と27.5ポイント上昇し、8期続けて上向きとなっている。

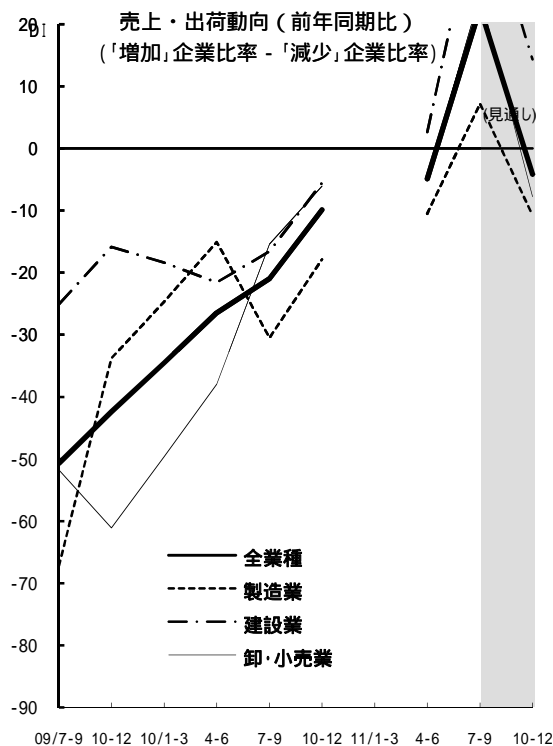
業種別にD Iをみると、製造業 7.2(前期 10.5)、建設業 41.6(同2.6)、卸・小売業24.7(同 4.6)となっており、各業種とも大きく上向いている。

[10～12月期の見通し] 10～12月期見通し(前年同期比)をみると、全業種では「増加」とみる企業が34.1%、「減少」が38.3%であることから、D Iは 4.2で、7～9月期実績と比較して下向き見通しとなっている。

業種別にD Iをみると、製造業で 10.8、建設業で 14.3、卸・小売業で 7.8となっており、7～9月期実績と比較して建設業は上向き見通しとなっている。

売上高または出荷高(前年同期比)

		(%)					D I
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	
全業種	7～9月 (実績)	19.6	33.9	15.6	23.8	7.1	22.6
	10～12月 (見通し)	2.4	31.7	27.6	33.5	4.8	-4.2
(製造業)	7～9月 (実績)	21.8	23.6	16.4	27.3	10.9	7.2
	10～12月 (見通し)	5.5	25.5	27.2	34.5	7.3	-10.8
(建設業)	7～9月 (実績)	25.0	33.3	25.0	11.1	5.6	41.6
	10～12月 (見通し)	0.0	42.9	28.5	22.9	5.7	14.3
(卸・小売業)	7～9月 (実績)	15.6	41.6	10.3	27.3	5.2	24.7
	10～12月 (見通し)	1.3	31.2	27.2	37.7	2.6	-7.8



(2) 生産高または仕入高

～ 大きく上向いた製造業と卸・小売業 ～

[7～9月期の実績] 生産高・仕入高実績（前年同期比）をみると、製造業（生産高）では「増加」と答えた企業が45.4%（前期33.3%）、「減少」が34.6%（同49.1%）で、DIは10.8（同15.8）と26.6ポイントと大きく上向いている。

卸・小売業（仕入高）では、「増加」と答えた企業は44.8%（前期36.9%）、「減少」が31.6%（同49.1%）で、DIは13.2（同9.5）と22.7ポイントと大きく上向いている。

[10～12月期の見通し] 10～12月期見通し（前年同期比）をみると、製造業（生産高）については、「増加」と答えた企業が30.9%、「減少」が40.0%であることから、DIは9.1で、7～9月期実績と比較して19.9ポイント下向く見通しとなっている。

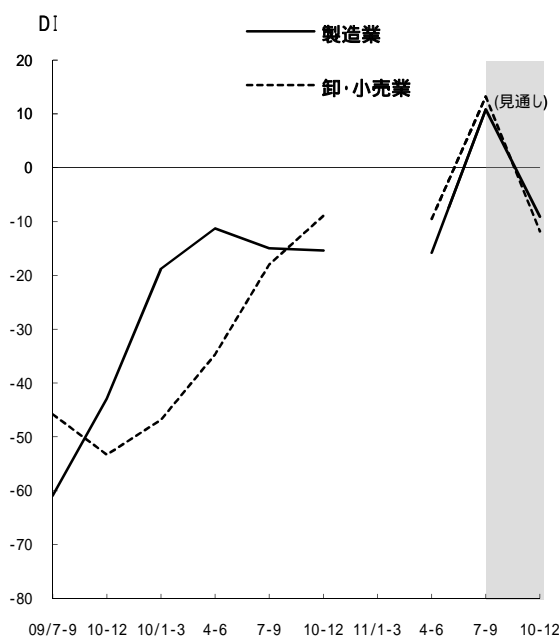
卸・小売業（仕入高）については、「増加」と答えた企業が27.6%、「減少」が39.4%であることから、DIは11.8となり、7～9月期実績と比較して25.0下向く見通しとなっている。

生産高または仕入高(前年同期比)

		(%)					
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	DI
(製造業)	7～9月 (実績)	21.8	23.6	20.0	25.5	9.1	10.8
	10～12月 (見通し)	7.3	23.6	29.1	32.7	7.3	-9.1
(卸・小売業)	7～9月 (実績)	13.2	31.6	23.6	26.3	5.3	13.2
	10～12月 (見通し)	1.3	26.3	33.0	35.5	3.9	-11.8

生産・仕入動向(前年同期比)

(「増加」企業比率 - 「減少」企業比率)





### (3) 在庫

#### ～ 在庫動向やや上向く ～

[7～9月期の実績] 在庫状況実績（前年同期比）をみると、製造業では、製品在庫が「増加」と答えた企業は21.8%（前期14.4%）、「減少」が32.8%（同39.3%）であることから、DIは11.0（同25.0）となった。また、原材料在庫水準については、「過大」が9.6%（同14.6%）、「適正」が77.0%（同73.4%）、「不足」が13.4%（同12.0%）である。

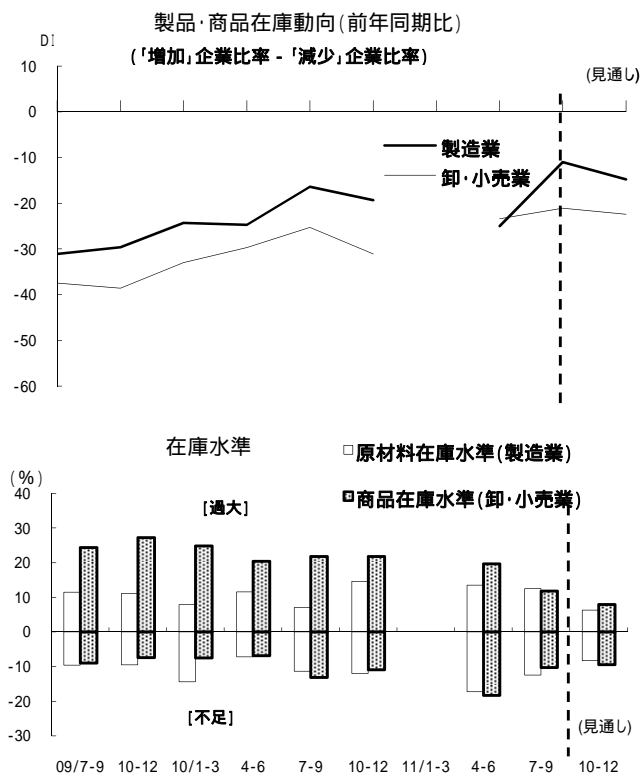
卸・小売業の商品在庫は、「増加」と答えた企業が14.3%（前期14.3%）、「減少」は29.6%（同37.7%）であることから、DIは21.1（同23.4）となった。また、商品の在庫水準については、「過大」が11.8%（同21.8%）、「適正」が77.9%（同67.3%）、「不足」が10.3%（同10.9%）である。

[10～12月期の見通し] 10～12月期見通し（前年同期比）をみると、製造業の製品在庫は、「増加」とみる企業が18.5%、「減少」が39.3%で、DIは14.8となっている。また、同じく原材料在庫水準については「過大」とみる企業が9.6%、「適正」が78.9%、「不足」が11.5%である。

卸・小売業の商品在庫については、「増加」とみる企業が7.5%、「減少」が29.9%であることから、DIは22.4となっている。また、同じく商品の在庫水準については「過大」とみる企業が7.9%、「適正」が85.4%、「不足」が9.4%である。

製品・商品在庫（前年同期比）

		（％）					
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	DI
（製造業）	7～9月 （実績）	9.1	12.7	45.4	25.5	7.3	-11.0
	10～12月 （見通し）	3.7	14.8	48.2	29.6	3.7	-14.8
（卸・小売業）	7～9月 （実績）	0.0	8.5	61.9	25.4	4.2	-21.1
	10～12月 （見通し）	0.0	7.5	62.6	25.4	4.5	-22.4



(4) 収 益

～ 各業種とも上向いた収益～

[ 7～9月期の実績 ] 収益動向実績（前年同期比）をみると、全業種では「増加」と答えた企業が47.0%（前期16.1%）、「減少」が32.1%（同43.1%）であり、D Iは 14.9（同 12.2）となり27.1ポイント上向いている。

業種別にD Iをみると、製造業 1.8（前期 17.9）、建設業 24.3（同 10.2）、卸・小売業 22.1（同 9.3）と、全業種で上向きとなっている。

[ 10～12月期の見通し ] 10～12月期見通し（前年同期比）をみると、全業種では「増加」とみる企業が30.5%、「減少」とみる企業が40.1%であることから、D Iは 9.6で、7～9月期実績と比較して24.5ポイント下向く見通しとなっている。

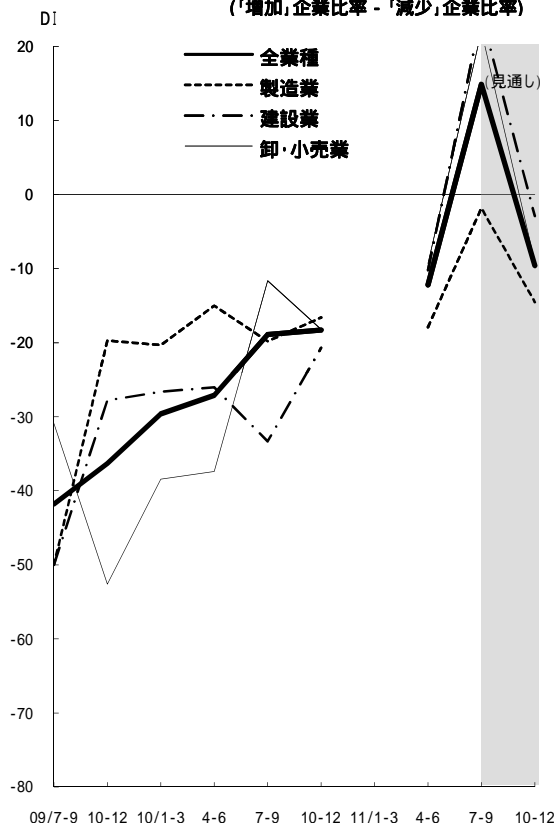
業種別にD Iをみると、製造業 14.5、建設業 2.9、卸・小売業 9.1で、7～9月期実績と比較して、各業種とも下向く見通しとなっている。

収 益(前年同期比)

		D I (%)					D I
		増加	やや増	不変	やや減	減少	
全業種	7～9月 (実績)	13.1	33.9	20.9	22.6	9.5	14.9
	10～12月 (見通し)	3.6	26.9	29.4	31.1	9.0	-9.6
(製造業)	7～9月 (実績)	14.8	24.1	20.4	25.9	14.8	-1.8
	10～12月 (見通し)	5.5	23.6	27.3	32.7	10.9	-14.5
(建設業)	7～9月 (実績)	10.8	35.1	32.5	16.2	5.4	24.3
	10～12月 (見通し)	0.0	37.1	22.9	28.6	11.4	-2.9
(卸・小売業)	7～9月 (実績)	13.0	40.3	15.5	23.4	7.8	22.1
	10～12月 (見通し)	3.9	24.7	33.7	31.2	6.5	-9.1

収益動向(前年同期比)

(「増加」企業比率 - 「減少」企業比率)



(5) 販売価格・仕入価格

～ 上昇傾向続く仕入価格 ～

[7～9月期の実績] 販売価格（前年同期比）をみると、全業種では「上昇」と答えた企業が14.3%（前期17.9%）、「低下」が20.9%（同18.5%）であることから、DIは6.6（同0.6）と下向いている。

仕入価格（前年同期比）をみると、全業種では「上昇」と答えた企業が32.0%（前期43.6%）、「低下」が8.9%（同6.7%）であることから、DIは23.1（同36.9）と上向傾向は継続している。

[10～12月期の見通し] 10～12月期見通し（前年同期比）をみると、販売価格については「上昇」とみる企業が13.3%、「低下」とみる企業が22.3%であることから、DIは9.0で、7～9月期実績と比較して下向見通しとなっている。

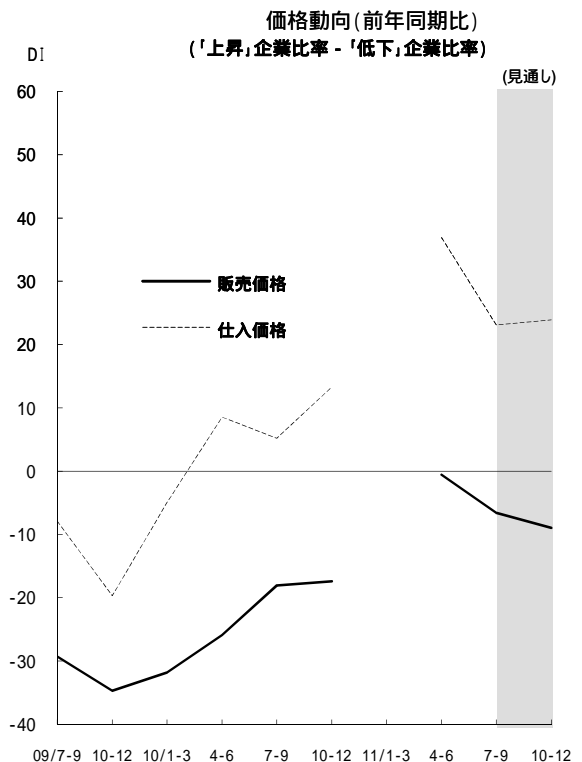
仕入価格については、「上昇」とみる企業が34.7%、「低下」とみる企業が10.8%であることからDIは23.9となり、7～9月期実績と比較して上向く見通しとなっている。

販売価格(前年同期比)

		(%)					DI
	期	上昇	やや上	不変	やや低	低下	
全業種	7～9 (実績)	1.2	13.1	64.8	18.5	2.4	-6.6
	10～12月 (見通し)	0.0	13.3	64.4	19.9	2.4	-9.0

仕入価格(前年同期比)

		(%)					DI
	期	上昇	やや上	不変	やや低	低下	
全業種	7～9月 (実績)	1.8	30.2	59.1	8.3	0.6	23.1
	10～12月 (見通し)	3.0	31.7	54.5	9.6	1.2	23.9



### 3.設備投資の動向について

#### (1) 設備投資の実施状況

～ 実績は上向くも、見通しは下向く ～

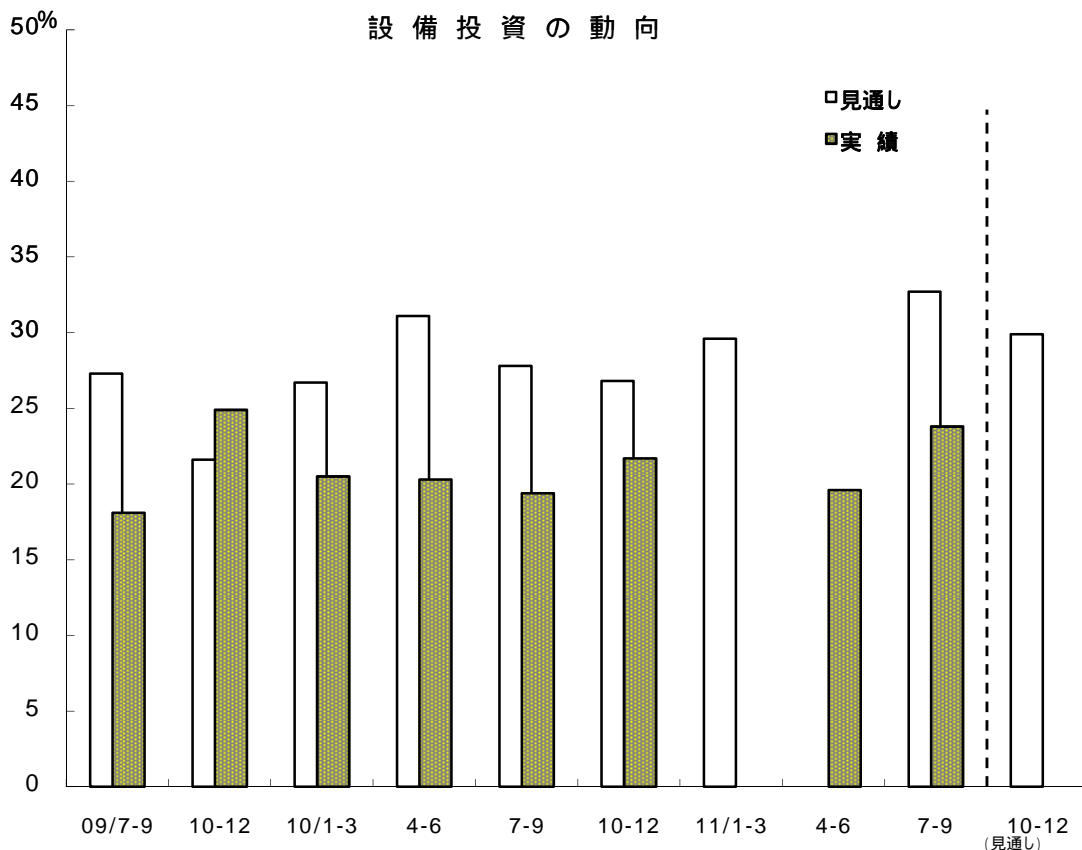
[4～6月期の実績] 設備投資の実施状況をみると、全業種では「実施した」および「計画を縮小して実施した」と答えた企業は23.8%（前期19.6%）と上向いている。

これを業種別にみると、製造業26.0%（前期21.5%）、卸・小売業28.0%（同21.4%）と上向いており、建設業は11.4%（同13.1%）と下向いている。

[10～12月期の見通し] 今後3ヵ月の設備投資について、全業種では「具体的な計画がある」と答えた企業は全体で11.0%（前期15.8%）、「計画はあるが具体化していない」は18.9%（同16.9%）、「計画はない」は70.1%（同67.3%）であった。

「計画あり」は合計29.9%（同32.7%）と前期予想を下回る見通しとなっている。

業種別にみると、「具体的な計画がある」および「計画はあるが具体化していない」と答えた企業は、製造業で29.7%（前期33.9%）、建設業で11.8%（同15.8%）、卸・小売業で38.2%（同39.8%）の見通しとなっている。



## (2) 設備投資の目的

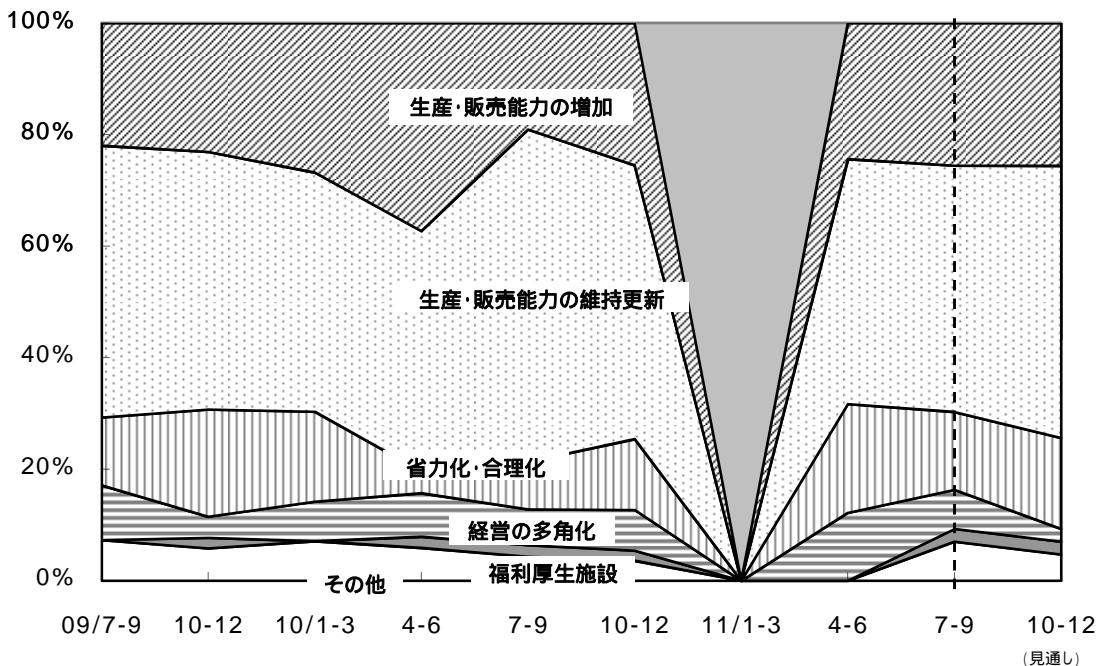
[7～9月期の実績] 今回の調査で「設備投資を実施した」と答えた企業(23.8%)の投資目的をみると、「生産・販売能力の維持更新」が49.1%（前期59.6%）でトップとなり、「生産・販売能力の増加」が25.5%（同19.1%）で2位、「省力化・合理化」が12.7%（同8.5%）で3位となっている。

業種別にみると、全業種で「生産・販売能力の維持更新」がトップとなり、製造業、卸・小売業では「生産・販売能力の増加」が2位となっているが、建設業では「生産・販売能力の維持更新」と「経営の多角化」が同率1位となっている。

[10～12月期の見通し] 今後3ヵ月の設備投資について、「計画あり」と答えた企業(29.9%)の投資目的をみると、「生産・販売能力の維持更新」が48.8%でトップとなり、以下、「生産・販売能力の増加」25.6%、「省力化・合理化」16.3%の順となっている。

業種別では、製造業、卸・小売業では「生産・販売能力の維持更新」がトップとなっているが、建設業では「生産・販売能力の増加」と「生産・販売能力の維持更新」「福利厚生施設」が並んでいる。

設備投資の目的



## 4. 資金繰り状況について

### (1) 資金繰り状況

～ 各業種の実績は上向く ～

[7～9月期の実績] 資金繰り状況(前期比)は、全業種では、「楽になった」とする企業が29.6%(前期24.1%)、「苦しくなった」が19.6%(同25.7%)であることから、D Iは10.0(同 1.6)と大幅に上向いている。

業種別にD Iをみると、製造業が 12.7(前期 10.5)、建設業が8.1(同15.4)と下向いているが、卸・小売業は27.3(同 3.5)と大幅に上向いている。

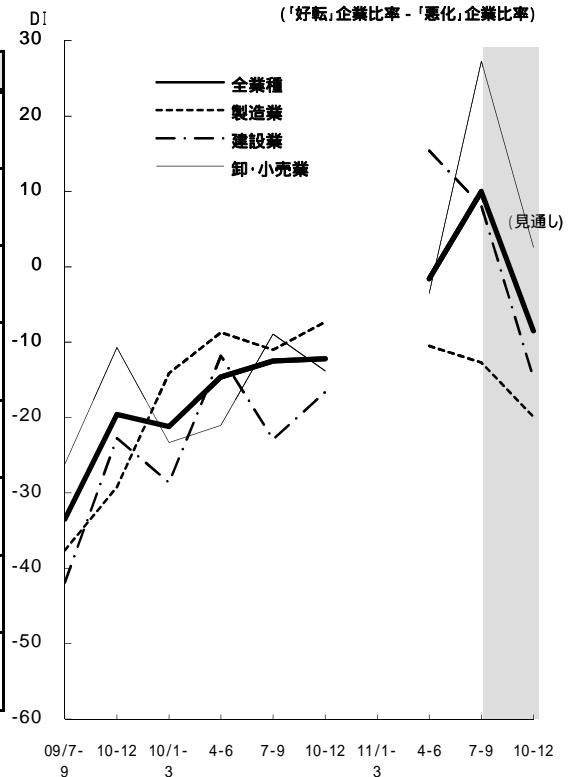
[10～12月期の見通し] 10～12月期の見通し(当期比)をみると、全業種では「楽になる」とみる企業が15.1%、「苦しくなる」が23.6%で、D Iは 8.5となり、7～9月期実績と比較して、下向く見通しとなっている。

業種別にD Iをみると、製造業 19.9、建設業 14.8、卸・小売業2.6となっており、7～9月期実績と比較して、卸・小売業以外は下向く見通しとなっている。

資金繰り(前期比)

		D I (%)					D I
	期	楽	やや楽	不変	やや苦	苦	
全業種	7～9月 (実績)	5.9	23.7	50.8	17.2	2.4	10.0
	10～12月 (見通し)	3.6	11.5	61.3	20.6	3.0	-8.5
(製造業)	7～9月 (実績)	10.9	9.1	47.3	29.1	3.6	-12.7
	10～12月 (見通し)	5.5	5.5	58.1	27.3	3.6	-19.9
(建設業)	7～9月 (実績)	2.7	21.6	59.5	10.8	5.4	8.1
	10～12月 (見通し)	2.9	8.8	61.8	20.6	5.9	-14.8
(卸・小売業)	7～9月 (実績)	3.9	35.1	49.3	11.7	0.0	27.3
	10～12月 (見通し)	2.6	17.1	63.2	15.8	1.3	2.6

資金繰り動向(前期比)  
(「好転」企業比率 - 「悪化」企業比率)



## (2) 現金・預金

[7～9月期の実績] 現金・預金（前期比）については、「増加した」と答えた企業が31.7%（前期24.6%）、「減少した」が24.0%（同31.1%）であることから、DIは7.7（同 6.5）と上向いている。

[10～12月期の見通し] 10～12月期の見通し（当期比）をみると、「増加する」とみる企業が12.2%、「減少する」が30.5%であることから、DIは 18.3（当期 23.1）と下向く見通しとなっている。

## (3) 金融機関借入

[7～9月期の実績] 金融機関借入金（前期比）については、「増加した」と答えた企業が24.7%（前期24.5%）、「減少した」が22.9%（同33.4%）であることから、DIは1.8（同 8.9）と上向いている。

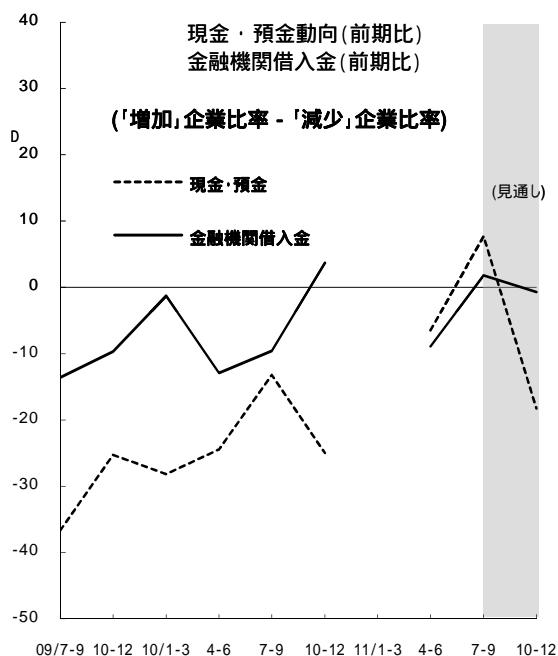
[10～12月期の見通し] 10～12月期の見通し（当期比）をみると、「増加する」とみる企業が17.2%、「減少する」が17.9%であることから、DIは 0.7（前期 8.9）と下向く見通しとなっている。

現金・預金(前期比)

		（％）					DI
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	
全業種	7～9月 (実績)	6.6	25.1	44.3	19.8	4.2	7.7
	10～12月 (見通し)	1.8	10.4	57.3	25.6	4.9	-18.3

金融機関借入金(前期比)

		（％）					DI
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	
全業種	7～9月 (実績)	2.4	22.3	52.4	19.9	3.0	1.8
	10～12月 (見通し)	1.2	16.0	64.9	16.0	1.9	-0.7



#### (4) 販売代金回収期間

[7~9月期の実績] 販売代金回収期間(前期比)については、「短くなった」とする企業が5.4%(前期5.5%)、「長くなった」が7.7%(同15.9%)であることから、DIは2.3(同10.4)となった。また、86.9%(同78.6%)の企業は「変わらない」としている。

[10~12月期の見通し] 10~12月期の見通し(当期比)をみると、「短くなる」とみる企業が2.4%、「長くなる」が9.7%であることから、DIは7.3(前期12.1)となる。また、87.9%の企業は「変わらない」とみている。

#### (5) 仕入代金決済期間

[7~9月期の実績] 仕入代金決済期間(前期比)については、「長くなった」とする企業が3.6%(前期5.5%)、「短くなった」が1.8%(同2.2%)であることから、DIは1.8(3.3)となった。また、94.6%(同92.3%)の企業は「変わらない」としている。

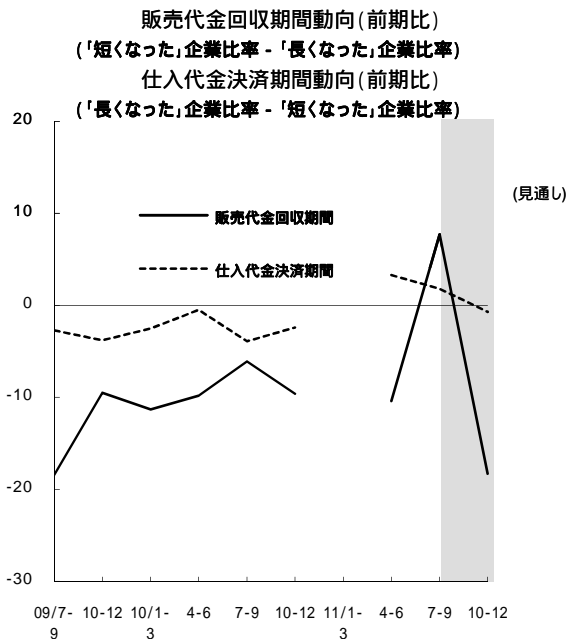
[10~12月期の見通し] 10~12月期の見通し(当期比)をみると、「長くなる」とみる企業が2.4%、「短くなる」が1.8%であることから、DIは0.6(前期1.6)となる。また、95.8%の企業は「変わらない」とみている。

販売代金回収期間(前期比)

		(%)					DI
	期	短く	やや短	不変	やや長	長く	
全業種	7~9月 (実績)	1.2	4.2	86.9	6.5	1.2	-2.3
	10~12月 (見通し)	0.6	1.8	87.9	7.9	1.8	-7.3

仕入代金決済期間(前期比)

		(%)					DI
	期	長く	やや長	不変	やや短	短く	
全業種	7~9月 (実績)	0.0	3.6	94.6	1.8	0.0	1.8
	10~12月 (見通し)	0.0	2.4	95.8	1.8	0.0	0.6





## 5. 経営上の問題点について

### ～ 建設業の「過当競争」継続 ～

7～9月期における経営上の問題点をみると、全業種では「売上・受注不振」25.4%（前期28.4%）、「過当競争」18.5%（同14.9%）、「収益不振」12.2%（同14.6%）の順となり、問題点の上位に変更はない。

業種別に上位3項目をみると、製造業では「売上・受注不振」35.5%（同32.1%）がトップとなり、「原材料・仕入価格高」17.2%、「収益不振」14.0%の順となっている。建設業では「過当競争」26.5%（同23.9%）がトップとなり、「収益不振」16.2%、「売上・受注不振」13.2%の順となっている。卸・小売業では「売上・受注不振」25.7%（同28.9%）、「過当競争」25.7%、「販売価格安」12.5%の順となっている。

経営上の問題点

